小規模多機能型居宅介護「サービス評価」　総括表

法人名	社会福祉法人　あさひ会	代表者	森田　孝文
事業所名	小規模多機能はまひるがお	管理者	宮元　直樹

法人・事業所の特徴	法人の理念である「あなたらしさ100%」を踏まえ「あなたと共に」を合言葉として、「あたり前の暮らし」、「生活の継続性」、「ご自身の持っている力を発揮できる機会作り」、「落ち着いた雰囲気作り」にこだわり、これまで培ってきた生活や暮らし、その方のこれまでの暮らしに根付いていることを大切にし、支援を行っています。具体的には、身近な家庭で行っていることを施設において取り入れ、ご利用者様と共に行っています（食事のしたく、掃除、季節に応じた行事・外出等）。また、それ以外にも個別支援を重視し、お一人おひとりの希望・要望等を支援に反映するよう、取り組んでいます。

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援C	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	2人	1人	1人	1人	人	2人	人	9人

項　目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	前回の外部評価の意見	今回の改善計画
A．自己評価の確認	スタッフ間で自己評価の判断基準を統一していく。	→3度目の自己評価が実施され、繰り返しにより大まかであるが、スタッフ間での統一した判断基準のもとで自己評価の確認が行えるようになってきた。	議論・協議までには至らず。	項目ごとの改善計画を具体的に誰もが分かり易い内容にしていく。
B．事業所のしつらえ・環境	・室内の湿度や温度などに配慮し、過ごしやすい環境作りに努める。 ・花壇や環境整備の継続。	→湿度計をいくつか購入し、どこでも確認できる環境を整えたが、常に職員間で湿度の変化に対し、意識をもって取り組めたとは言い難い。 ・担当スタッフが中心に花壇作りやしつらい等の環境面での配慮等、年間を通して大まかであるが行えた。	臭いや明るさ、室内の環境等に関して気になるような所はなかった。臭い等も特に問題ない。 →前回の内容を継続する。	・室内の湿度や温度などに配慮し、過ごしやすい環境作りに努める。 ・花壇や環境整備の継続。
C．事業所と地域のかかわり	・町の健脚体操への参加。 ・地域行事への参加。 ・施設イベント行事の案内 ・地域住民への施設会場の提供。 ・地域の高齢者向けのイベント企画の開催	→地域の高齢者向けのイベント活動が十分に開催できていない。しかし町の健脚体操への参加や施設でのイベント活動の案内などは定期的に情報の提供が行えた。今後、より地域との関係を深掘りし、地域とのつながりの強化に努めていきたい。	特に異論や追加等の意見はなかった。 →前回の内容を継続する。	・町の健脚体操への参加。 ・地域行事への参加。 ・施設イベント行事の案内 ・地域住民への施設会場の提供。 ・地域の高齢者向けのイベント企画の開催

項　　目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	前回の外部評価の意見	今回の改善計画
D．地域に出向いて本人の暮らしをささえる取組み	・個人情報の保護の観点を大事にしながらも当事者が地域での暮らしを安心して過ごせるよう適切な情報共有・連携を図る。→具体的な取り組みを検討する。	→ご利用者の状況によっては、行方不明にならないよう、町内の住民や民生委員・派出所などへの情報提供を行ったり、地域住民からご利用者をみかけた際には施設に連絡を下さるなど、おおまかに地域と施設との情報共有を図れるようになった。	議論・協議までには至らず。 →前回の内容を継続する。	・個人情報の保護を大切にしながら、ご利用者が住み慣れた場所で生活を送れるよう、適切な情報の提供や連携・協力を図っていく。
E．運営推進会議を活かした取組み	・牧地区民生委員の方への参加の依頼を継続していく。	→基本的には定期的に牧地区民生委員の方に会議に参加して頂けた。	議論・協議までには至らず。 →前回の内容を継続する。	・牧地区民生委員の方にも参加依頼を継続する。 ・他の小規模事業所の方にも会議の参加を依頼していく。
F．事業所の防災・災害対策	町内自体の防災体制が十分に整備されていないこともあり、今後町内の防災体制の動向を確認しながら事業所として連携・協力できる事を検討していく。併せて事業所として地域にどのような協力・要請が必要なのかも検討していく。	→殆どできていない。	議論・協議までには至らず。 →前回の内容を継続する。	町内での防災・災害の取り組みへの参加を行う。又、町内の回覧板などを通して事業所の避難訓練の状況等をお伝えし、事業所として連携・協力できることを検討していく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 29 年 6 月 13 日（14：00～14：50　）
1．初期支援（はじめのかかわり）	ﾒﾝﾊﾞｰ	6 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	5 人	1 人	1 人	7 人

前回の改善計画

事前の情報収集は、基本ケアマネが行い、ケアマネから出された情報を担当スタッフが確認し、その範囲でサービスの用途（サービス内容・利用回数）や具体的な対応方法での追加・変更等を追加していく。併せて新規利用者においては、カンファレンスを利用開始後 1 か月後に開催する。

①利用開始前にケアマネが契約時に得た情報を担当スタッフにも確認し、サービス内容や対応方法・ケアプランに意見・思いを伝え、具体的な支援に反映していく。

②状況を把握した中で利用開始 1 か月後にカンファレンスを開催し、プラン内容や支援方法を見直す。

前回の改善計画に対する取組み結果

①に関してはケアマネが担当スタッフに情報を伝え、意見を求める課程は実施できている。但し、実際にご利用者の状態を見ている訳ではないので、具体的な追加提案までには至っていない事が多い。

②担当スタッフがカンファレンス時に不在などの理由からすべての新規利用者の 1 か月後のプラン・支援方法の見直しができていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	利用者の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？		9			9
②	ミーティングにおいて、かかわりの初期の目標を共有できていますか？		7	2		9
③	利用者がまだなれていない時期に、訪問や通いでの、声掛けや気遣いができていますか？		9			
④	初期の目標を念頭においたケアができていますか？		8	1		9

できている点　200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・本人が慣れていない時期は、特に話しやすい環境を作り、不安を受け止めることができる関係作りに配慮している。
・送迎時など、ご家族との情報共有を行えるよう、コミュニケーションを取れるよう、心掛けている
・利用開始前にサービス内容や情報を事前に回覧し、ミーティングや申し送りで全体共有できている。
・事前情報以外にも利用を開始してみて、初めて気付く事も多く、申し送りの時間を使って支援内容を臨機応変に変更している。
・利用の開始される前に情報を申送りなどで共有している。
・利用者様が居心地よく過ごせるよう、座る場所などを工夫している。慣れるよう声掛け・見守りを行っている。
・通い時は声掛けや不安なご様子の際には、寄り添うように心掛けている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・すべての記録やアセスメント等を活用し、情報を得ているとは言えない。
・ご利用者の思いをなかなか汲み取れない。
・改善計画の利用開始1か月後にカンファレンスを開いていない。
・施設内で対応できることは、すぐにも支援に反映されるが、それ以外では様子見で保留になることがある。
・新規利用者にスタッフが本人に会いに行ったり、ご家族と会い、話す機会がなかなか持てない。
・急な利用開始の時がある。
・ご家族とご本人の意向は異なる。
・ご家族と直接お会いし、話しをする機会が少なく、関係作りができていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)

①1か月後の新規利用者のカンファレンス開催を徹底していく。(カンファレンス時、担当スタッフが不在の場合には書面にて自身の意見や検討事項をとりまとめ、新規利用者のカンファレンス実施の徹底に努める)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 29 年 6 月 13 日（14：00～14：50　）
2．「～したい」の実現（自己実現の尊重）	ﾒﾝﾊﾞｰ	6 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	2 人	5 人	2 人	9 人

前回の改善計画

まずは聴くことをもっと行っていく。毎日の中で全体に何をしたいのかを聴き取り、書面に残す。又、したいことができたのかをチェックする。

①毎日必ず通い利用者に対し、「～したいこと」をお聴きする。又、したいことをスタッフ全体で共有するために書面に記録を残し、支援したのかをチェックする。

前回の改善計画に対する取組み結果

通い時に毎回、各利用者に対し、要望や希望を聞くように心掛け、聞いた内容を専用シート（希望・要望シート）に記載に残すよう取り組んできた。しかし、外出や通い時の過ごし方など、身近な希望を引き出すことが中心となり、生活に密着した張り合い（ＥＸ：自宅での役割、昔の友人に会う、介護サービスを利用する前の関係者との付き合い、習い事等）につながるような内容を拾い上げることができなかった。又、自分の意志を伝えられない方に対しての思いや願いを具体的に引き出すことができなかった。引き出すための全体的な共通認識や理解度がスタッフ間でばらつきがみられる。個々の利用者の願いを引き出すためにもスタッフ全体の共通認識を持つことの大切さを知った。又、実際に具体的な取り組み（電車に乗る、こまめな作業を行う等）を行い、実践することでより個々の利用者のしたいことや願いがみえてくるのではないかとの意見も挙がった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？		1	8		9
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？		1	8		9
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？		1	8		9
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？		2	6	1	9

できている点　200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・毎日の「～したいこと」をお聞きすることは徹底できていないが、会話の中や記録を参考にする等、ある程度は満足して頂けているのではないかと思う。
・通い時にしたいことをお聴きし、なるべく実現できるよう支援している。
・要望・希望シートでは具体的にしたいこと以外にも、逐語録表現で記入するようにしている。
・「～したい」と言われる方にはそれに添えるように関わりを持っている。
・利用者様が希望されることに対し、なるべく実践できるよう、心掛けている。
・ご利用者様１人ひとりに毎日「～したい」をお聞きし、その希望を少しでも叶えられる全体で考えながら実践している。
・ご利用者様の表情や様子を観察し、出来る限り、その思いに寄り添った支援を心掛けている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・毎日の「～したいこと」をお聴きする事が徹底できていないことや、お聴きしても「分からない」と言われる事が多い為、本人が何かしたいのかを理解できていない。
・ご自分の思いを伝えられないご利用者のニーズを汲み取れていない。
・要望・希望シートの記入が毎日だと続かない。
・言葉で表すことができない方、あまりされない方の思いを引き出すことができていない。
・問いかけにも問題があるのか、毎日同じ答えが返ってきたり、他者と同じことを仰られ、真のニーズや希望を把握することができない。
・意思を伝えられない方の本当の思いが分からない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)

①個々の希望・要望を聞き出し、ケースに記載し、その希望を担当スタッフがケース記録から拾い上げ、カンファレンス・ミーティングで全体に伝えていく。又、担当スタッフが個々の利用者の知り得た希望・要望をより深掘りするために、他のスタッフにも再度その希望・要望を聞き出してもらうよう働きかける。
②個々の利用者の要望希望を聞き出したことで共通した出来事・希望を企画・活動に取り入れ、思いを形にしていく。(目標：年２～３回)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 29 年 6 月 13 日（14：00～14：50　）
３．日常生活の支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	6 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	5 人	4 人	人	9 人

前回の改善計画
①カンファレンスの際に必ず、アセスメント表を全体で確認し合い、現状と異なる場合は修正し、統一したケアになるよう努める。 ②深掘りができる議論を行えるよう、こまめにケースを確認したり、知り得たことや気づいた点をケースに記載する。
前回の改善計画に対する取組み結果
①に関しては、カンファレンスの際にアセスメント表を確認し、現状と異なる場合には修正を行っている。しかし、アセスメント表に記載したケアが現状の中では行えていない事が多い。その理由としては、カンファレンスに欠席したスタッフは、ケース記録に綴られているアセスメント表を自ら進んで確認する人が少なく、話し合い後に修正したアセスメント表を再度確認する人が殆どいないため担当者のみが把握しがちになりやすいのではないかとのこと。 そこで、より目にする回覧板に変更されたアセスメント表を掲示し、確認後に各自で押印を行うことで周知に繋がるのではないかとのこと。 ②申送りノートには記載するが、詳細の内容をケース記録に記載し忘れていることがよくみられる。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか？			9		9
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？		9			9
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？		2	7		9
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？		9			9
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？		8	1		9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・ご利用者一人ひとりの嚥下や状態に合わせて常食・ほぐし・刻み・ミキサー食で食事提供をし、体調や精神状態の変化に留意し、入浴・トイレ介助等、対応している。
・体調や状態に応じて支援方法を変更している。
・何か気づいたことがあれば申し送りで話し合い、情報を共有している。
・申し送りやカンファレンスを通して情報を共有し、統一したケアを行っている。
・カンファレンス時にアセスメントを行っている。
・体調や気持ちの変化がみられた時にはケース記録に記載し、申送り等で話し合い、情報を共有している。
・体調の変化などに応じて休んでもらったり、家族に連絡するなど、変化に応じて支援ができている。
・ご利用者様の体調変化やお気持ちを申送りやミーティングの時間帯に伝達し合い、情報共有ができている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・アセスメント等で情報を10個以上把握することは困難である。一人ひとりと関わる時間が十分でなく、変化に気づけていない。
・ご本人の気持ちよりも業務優先になってしまう時がある。
・本人の声にならない声を言語化する。心情面での深掘りができていない。
・これまでの暮らし、生活スタイルをなかなか把握できていいない。
・アセスメントシートの活用も十分に行えていない。
・以前の暮らしが把握できていない。
・ケース確認ができたり、できなかったりとご利用者様によって異なる。
・1人ひとりの以前の暮らし方をまだ十分に把握できておらず、その人に合った生活環境を作れていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)

①修正したアセスメント表を回覧板に掲示し、各自再度アセスメント表を確認し、確認済みの人は押印を行う。併せて担当スタッフが変更点を口頭で他のスタッフに伝え、全スタッフが内容を把握し、統一したケアの提供に努める。
②注意点や知り得た情報に関して申送りノートだけではなく、ケース記録への記載を徹底する。
③アセスメント表のその他の欄の箇所に、新たに知り得た情報（趣味や関心事・嗜好等）を追記する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成29年6月20日（17:30～19:00）
4．地域での暮らしの支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	7名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	人	2人	7人	9人

前回の改善計画
ご利用者の中からエコマップ作成する対象者を1名選定し、その方からエコマップ作成を始める。又、エコマップ作成後に、実際に関わりやどの程度ご本人にとって重要なのかを調査・確認を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果
全くエコマップ作りを行えていなかった。→前回の改善計画を継続。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？		4	4	1	9
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？		3	5	1	9
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？		1	6	2	9
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？		2	5	2	9

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・アセスメント等でこれまでの生活スタイル・人間関係についてはある程度理解ができている。
・情報シートやご本人との会話の中から生活スタイルを把握できている。
・事業所以外での過ごし方については、ご本人やご家族にお聞きし、把握できるよう努めている。
・自宅での生活に配慮し、必要に応じて買い物やゴミ出し等の生活支援を行っている。
・地域の活動に参加されている方もおり、お話を聞かせて頂いている方もいる。
・自分からは色々と話しをされる方のみ把握できている。
・ご利用者様の自宅や事業所での様子は、連絡帳等も通じてご家族と情報共有しながら支援に当たっている。

できていない点　200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・本人に必要な地域資源について把握できておらず、本人が利用することにつながっていない。
・改善計画でのエコマップ作成を行えていない。
・利用者の生活スタイルや人間関係を把握できている方は少ない。
・通い利用（時間帯・利用回数）が多いご利用者様は、地域との関わりは希薄であると思われる。

次回までの具体的な改善計画　（200字以内）

ご利用者の中からエコマップ作成する対象者を1名選定し、その方からエコマップ作成を始める。又、エコマップ作成後に、実際の関わりやどの程度ご本人にとって重要なのかを調査・確認を行う。（その方が楽しまれるような場所等を提案し、地域資源に繋げていく）

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成29年6月20日（17:30～19:00）
5．多機能性ある柔軟な支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	7名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	1人	7人	1人	9人

前回の改善計画

チェック項目の１項目にて地域の資源を使った支援していくは、大多数ができないと評価した。そのことを重視して、今回は地域資源に限らず、ご利用者個々の社会資源をみつけていくとする。
①利用者お一人おひとりの社会資源（事業所以外につながりのあるもの【人・場所・物・関心事・趣味】）を具体的に探る。又、知り得たことを所定の書面に記載してスタッフ全体で把握する。

前回の改善計画に対する取組み結果

２「～したい」の実現と関連するが、専用シート（希望・要望シート）を用いて、したいことを毎回伺ってきたが、実際に地域の資源を活用するような希望や要望を引き出すことができなかった。４の項目と同様であるが、エコマップを活用し、まずお一人からその方の社会資源【人・場所以外にその方の関心事や興味・こだわり】を把握し、その方の生きるために必要なものを理解していく。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？		1	8		9
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	1	7	1		9
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？		7	2		9
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？		8	1		9

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・変化や気づいたことなど、毎日の「申し送りノート」で共有している。職員間で連絡を取り合い、柔軟な支援を行っている。
・何か変わったことがあれば申し送りやミーティング等で情報共有を行っている。
・月１回ではあるが、健脚体操に参加するようになり、他者との交流や新たな関係作りの場になっている。
・ご家族のニーズに応じて通いや泊まりなど対応している。
・ご本人の変化に気づき、スタッフ間で共有し、それに合った対応を行っている。
・通いにおいて追加利用や曜日の交換を行えている。
・「変化」に気づき、他の職員と相談している。
・ご本人様や周囲の変化に気づいた場合、すぐに報告し、これからどうしていけば良いのかを話し合いができていたと思う。

できていない点　200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・「宿泊」に関しては職員の体制上の問題でニーズにあった支援ができていない。
・社会資源に関して、一部のご利用者からしか、情報を得られていない。
・利用者お一人おひとりの社会資源が把握できていないため、その方の地域に出向く活動ができていない。
・地域資源の活用ができていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
ご利用者一名を選定し、その方のエコマップを作成し、その方の生活を理解していく。又、作成後、どのような取り組みを行うことでより生活の張り合いや自立支援に繋がるのかを検討していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成29年6月20日（17:30～19:00）
6．連携・協働	ﾒﾝﾊﾞｰ	7名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	6人	3人	人	9人

前回の改善計画

①事業所として年に１度でも地域交流（コミュニティ・カフェ）会を開催する。開催するにあたって近隣の老人会や健脚体操クラブなどに出向き、地域の方との関係を築く。

②グループホームあたかの郷で行われている安宅小学校への雑巾提供事業の一部を担わせてもらう。

前回の改善計画に対する取組み結果

①地域交流会を開催することはできなかったが、その足かけとして近隣の老人会への働きかけや浮柳町健脚体操の月１回の参加を実施することができるようになった。

②今年１月から２か月に１度のペースで安宅小学校への雑巾提供を行なうことが出来るようになった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？		2	3	1	6
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？		4	2	2	8
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？		1	5	2	8
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		4	3	2	9

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・地域の方やボランティアの方・児童センター・牧こども園の子どもたちと定期的に施設にて交流を図れている。
・ご利用者に雑巾を縫っていただき、決められた月に持って行っている。
・健脚体操への参加や雑巾提供を始めた。
・認知症ほっとステーション等の協力体制を整えている。
・地域交流企画（餅つき・回転寿司）に近隣の方に声掛け（回覧版）を行っている。

できていない点　200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・施設全体ではできているが、自分は担当外でできていない事が多い。
・健脚体操には参加しているが、そこで地域の方と話をする機会が殆どない。
・イベントの案内を近隣に配布しても、人が集まらない。
・町内行事に場所を提供しても、お互い遠慮がちで気を遣ってしまう雰囲気がある。
・健脚体操以外の行事に参加できていない。
・地域カフェの開催が行えていない。
・地域に溶け込めていない。
・地域交流企画を実施しても、地域の方の参加が少ない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
①地域交流会を定期的に開催していく。(今年度 6 月に近隣住民や老人会・健脚体操参加者の方に呼びかけ、日本舞踊観覧にお招きし、地域とのつながる機会を設けた。今後も定期的に事業所の理解・周知と共に地域の高齢者の方の関心事や介護予防につながるような取り組みを開催していく) ②近隣の健脚体操の参加と安宅小学校の雑巾提供事業を継続していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 29 年 7 月 11 日（14:00～15:00）
7．運営	ﾒﾝﾊﾞｰ	9 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	1 人	8 人	人	人	9 人

前回の改善計画
ミーティングの内容において職場内研修を中心に行われていたが、ご利用者の支援に関しての話し合いが十分とは言えない。→ ①ミーティングの時間を用いてカンファレンスを行う。
前回の改善計画に対する取組み結果
①に関しては、ミーティングの時間を用いてカンファレンスを行うことができた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？		5	4		9
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？		7	2		9
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？		6	2		8
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？		3	5	1	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・連絡帳や送迎時等、家族からの苦情を職員と連携し、話し合い対応できている。 ・毎月のミーティング時にカンファレンスを行い、アセスメントや支援内容について話し合いができている。 ・苦情についてはその都度話をお聴きし、精神誠意の対応をしている。 ・運営懇談会への参加を牧地区の民生委員に広げたことで、少しずつ近隣に周知されるようになっている。 ・ミーティング時に利用者のカンファレンスを行っている。 ・ご家族からのアンケートで運営を考える時がある。 ・運営懇談会で地域の意見を反映している。 ・ご家族からの苦情・要望は職員間で情報共有し、即時対応している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域の方と関わりが薄く、協働した取り組みができていない。 ・運営懇談会の内容は議事録で回覧しているが、懇談会への参加は毎回同じ職員である。 ・地域交流を持つ機会が少ない。 ・意見ができることとできないことがある。 ・地域との連携が中々行えていない。	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
通い時の活動内容の充実を図るため２か月に１度のペースで季節行事やレク・臨床美術等の主な担当者からミーティングの時間等を用いて具体的な活動内容の提案・参考資料・重点的に取り組んだ方が良いことなどを全体に伝達する。又、ミュージックケア・フラワーアレンジメントなどの地域のボランティアの方に活動への協力を求め、新たな取り組み・活動を行っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 29 年 7 月 11 日（14:00～15:00）
８．質を向上するための取組み	ﾒﾝﾊﾞｰ	９名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	２人	６人	１人	人	９人

前回の改善計画

①職場外研修において出席者が必ずミーティングなどの時間を用いて他のスタッフに研修内容を報告する。

②職場外研修資料や事故報告書に関しては日頃全体で回している回覧板に綴り、必ず確認する。確認後にスタッフ全員は関係資料に押印する。

前回の改善計画に対する取組み結果

①職場外研修における報告会は実施できたものの、職場外研修への参加も少なかったため十分に質・量ともに職場内研修が行えたとは言い難い。

②研修資料や事故報告書の回覧板を用いて職員全体に確認してもらっているが、資料に目を通すだけになりがちで、日頃の実践に十分に活かされたとは言えない。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか		6	3		9
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		4	4	1	9
③	地域連絡会に参加していますか		3	2	3	8
④	リスクマネジメントに取組んでいますか		6			

できている点　200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・ミーティング時に他の職員が研修に参加した情報を共有している。
・ミーティング時に研修内容を説明し、職員間で情報共有されている。
・事故報告書を回覧板でまわすことで、必ず確認することができた。
・ミーティングの時間に研修報告を行っている。
・ミーティングに参加していないスタッフに個別で報告するようにしている。
・ミーティングでの話し合いにおいて比較的意見が言い易い雰囲気があると思われる。
・資料の確認の際、担当が気づかない時でも気づいた職員が担当に伝えている。
・職場内研修で学んだ事を活かし、事業所での支援について見つめ直す機会もでき、個人の質を向上させるための必要な時間を作れていたと思う。

できていない点　200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・外部研修に参加する機会があまりない。
・自分が参加したい研修内容が分からず、上司の勧めでの研修の参加が殆どになっている。
・外部研修は上司からの指示にて参加しているが、自発的な参加はない。
・事故報告書は回覧で確認しているが、ひやりはっとシートは殆ど見る事が無く、話し合う機会も無いように思う。
・資格取得やスキルアップが不十分である。
・職場外内研修報告書を回覧しているがあまり読まれていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
２か月に１度のペースで危険予知トレーニングを行い、気づきの力を養っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 29 年 7 月 11 日（14:00～15:00）
9．人権・プライバシー	ﾒﾝﾊﾞｰ	9 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	2 人	7 人	人	9 人

前回の改善計画	
排せつ状況やご利用者の個々の情報をご利用者前にて伝達してしまうことがある。改めてスタッフ間で意識し、周囲の環境や状況に配慮して適切に情報共有を行う。（場所を変えて、周囲のご利用者に聞かれないように申し送りを行う）	
前回の改善計画に対する取組み結果	
可能な限り、周囲の状況を勘案して職員間での情報交換を行うよう努めているが、早期に伝達が必要でご利用者の前で行ったり、職員配置上、見守りを行う必要もあるためどうしてもご利用者が耳にする場面で伝達せざるを得ない場面もみられ、十分に周囲の状況等に配慮した情報共有を行えたとは言い難い。	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	1	8			9
②	虐待は行われていない	4	6			10
③	プライバシーが守られている		4	5		9
④	必要な方に成年後見制度を活用している		3	1	3	7
⑤	適正な個人情報の管理ができている		6	3		9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・玄関に鍵をかけることをせず、出入りの制限はしていない。
・申し送りやミーティング時等、利用者の名前等をイニシャルで伝える等、プライバシーに配慮している。
・記録物等の個人情報をなるべく、ご利用者の近くに置かず、すぐ片づけるようにしている。
・他の利用者様に不快な思いを抱かれないように、食事や排せつの場面では他者から見えないような配慮や、汚染したらすぐに交換するなどの注意を払っている。
・ご利用者様の個々の情報が周囲に聞かれないようにスタッフの間で意識し、情報共有できていた。
・身体拘束をせず、支援を行っている。
・守秘義務が必要であることを認識している。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・他の利用者様に聞こえる場所で排泄の状況等、話をしてしまっていたことがある。
・毎回ではないが、ご利用者の前で個人情報を話してしまう時がある。
・他利用者様の傍で利用者様のことを話すことがある。
・職員間でご利用者様の情報（排泄など）をミーティング以外にも他の利用者様の近くで話をしてしまっていることがある。
・ご利用者様の前で他の利用者様の話をしてしまうことがある。
・ケースや資料など、置かれたままになっている時がある。
・連絡帳やケース記録をご利用者様の近くで記載することがある。
・外出したい利用者の方に仕方なく、強制的な誘導を行う時がある。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
排せつ面に関しては暗号などを用いてご利用者の羞恥心に配慮を行う。又、ご利用者に不利益が及ばないよう、不適切な場面での職員間での情報のやり取りをみかけた場合には気付いた職員が注意を行うなど、事業所全体でプライバシー保護・人権尊重の考えを重視していく。	